

あなたの保育のヒントになるかもしれない情報誌

スイッチ!



全国の青年部会員園紹介

特集1

小桜愛児園（横浜市）

全国の青年部会員園紹介（再掲）

特集2

星の子保育園（滋賀）

全国の保育士さんたちに聞きました！

特集3

いいね！保育士（横浜編）

特別号

日本保育協会青年部広報誌



ガラス窓からは園庭が一望できる。外側はテラスになっており、出入りも可能である。



エントランス。住宅街のマンションから、園に入ると、子どもたちの空間へと早変わりする。



2～5歳児は縦割りクラスとなっており、パーティションでクラスの半分ほどが仕切られている。



乳児クラス。天蓋が設置され、子ども目線にもリラックスできる配置となっている。



横浜支部 小桜愛児園



給食室は一階部分に配置されている。配膳はダムウェーターから各クラスへと。給食室へと続く階段には、壁面に三色食物のポスターなど食育に関連したポスターが多く掲示されている。



閑静な住宅街を上る坂道の途中にあるマンション、その二階に園が存在する。



園庭は、スポーツ用の人工芝が敷設しており、園児たちは、その上を思い切り動き回る。マンションの一角、といった園の外観からは、想像もできない空間になっている。



園庭に設置されたブランコ、このサイズとしては設置は小桜愛児園が日本初となる。

DATA 小桜愛児園

神奈川県横浜市青葉区
あざみ野 1-32-6



時代とともに変えてゆく保育
変わらぬ保育との
ハイブリッドを目指して

園と併設されているマンションには、横浜地域応援マンションという触れ込みがあり、地域と一体となって保育に取り組むコンセプトがある。また、FHC加工という加工をし、園の内壁に抗アレルギー、抗菌処理を施している。

12年に一度、マンションでは大規模修繕を行うということもあり、小桜愛児園でも、それに応じて修繕の計画を12年ごとに進めているという。今回の修繕では、先述した人工芝を園庭に施工するという修繕を行っている。

2～5歳児クラスにおいては、縦割り保育を意識しつつも、クラスをすべて開放するわけではなく、半分ほどパーティションを開放し、クラス部分とコーナー保育部分を分けた設置をしている。また、コーナー保育用の教材にも、キャスターを設置するなどして、フレキシブルに配置を転換できやすくする配慮を施している。

神奈川県横浜市あざみ野。首都圏の人口増加により、1970年代より開発が進み、現在では東京や横浜のベッドタウンとして知られる街である。横浜市区、川崎、都内23区などにもアクセスしやすい。そんな東急田園都市線、あざみ野駅より徒歩10分。住宅街の緩やかな坂道の途中にある、高層マンションに小桜愛児園は存在する。施設外観は、普通のマンションの一階部分。と思いきや、マンションの住人の使用しているエントランスは、園舎とは反対部分に存在している。一階に見えるように実は二階に位置しており、マンションの住人への配慮がうかがえる。元々保育園があった土地にマンションを併設しようという事で、都市型の保育園としての表情をのぞかせる。朝顔の飼育鉢が並び通路を抜けて園庭に立ち入ると、一面の人工芝に覆われた園庭が目に入る。人工芝は、競技用の人工芝で、スタジアムや競技場などで使用されている。耐久性に関しても、長期間のメンテナンスを不要としており、擦過による肌への傷も抑えられ、園児たちの活発な動きを助長している。

閑静な住宅街にある 都市型保育園



キャラクターものが廃された室内は、落ち着いた印象を受ける。



大きな丸い天井は、それだけで柔らかな雰囲気を醸し出している。落ち着いた環境構成は、遊びの妨げにならない。



いつでも手が届くところに、たくさんのおもちゃが置かれ、子どもは好奇心のおもむくままに遊び込める環境が作られている。



「大切なことは目に見えない」

サン＝テグジュペリの『星の王子さま』の一節を思い出させる、星の子保育園の理念は、子ども達の中に毎日少しずつ育まれているとともに、その理念によって、職員が子ども達を大事に保育している様子も垣間見える。



部屋や廊下は、木と光を基調とした穏やかな雰囲気に包まれている。植物やインテリアがさりげなく配されて、昔ながらの保育室とは一線を画すといっていだろう。

DATA 星の子保育園

滋賀県大津市雄琴 2-17-13
※スイッチ4号の再掲版です。

星の子保育園で今キーワードにしていることは、ほんとうに大切なものは、目に見えない。

行事の成果のように目には見えにくいですが、子どもたちの主体的な暮らしと遊びの中で育まれる根っこを信じる保育によって、その育ちはより豊かになり、保護者や保育者にも必ず伝わっていくだろう。子どもの作品もただ壁に並べるのではなく、額に入れたり、オブジェのように飾られている。丁寧に扱われれば、子どもも張り切るだろうし、誇らしくなるに違いない。「保育を工夫する主体は保育者なので、保育者の学びの支援を大切にしている」と中西園長。園内研修の充実に加えて、青年部や研究会の研修への積極的な参加、また県内の園と合同で研修会を企画したり、互いの園を保育者が見学し合ったりと、質の向上に余念がない。

今年9月には日本保育協会青年部の全国大会が滋賀県で行われる。現場の保育士向けの内容を充実させるとのことで、これを機会に一度訪れてみてはどうだろうか。

滋賀県 星の子保育園



琵琶湖のほとりに園舎を構える
小さな保育園の大きな変化

滋賀といえば琵琶湖、その雄大な水がめを眼下に望む丘に星の子保育園はある。子どもたちの声はにぎやかに弾け、降りそそぐ光をさえるものは雲以外にない。「約40年の園の歴史の中で、いわゆる一斉指導型中心の保育をしてきましたが、ここ数年で保育環境の質向上をキーワードに、子ども主体の保育にチャレンジしています」

出迎えてくれた中西淳也園長はそう語るが。声を荒げて指示するような保育者の声はなく、それでいて子どもたちはそれぞれの遊びに集中している。手持無沙汰にうろうろしたり、他の子の遊びを邪魔したりするようなこともない。なぜ、ここまで変わることができたのか。「これまでの行事や、そしてなにより日々の保育の見直ししました。ガラんとした部屋に、豊かな物的環境



園庭には、みどりのトンネルや砂場があり、自由に使えるポンプでは楽しそうに水遊びに興じていた。



を、いつでも手の届くところに配置したり、と。最初は保護者からの反発もありましたし、なにより保育者も疑問や不安を感じていたと思います。だからこそ、子どものこと、保育のことを、言葉や形にして丁寧に共有することに心を砕きました」

確かに、これまでの伝統はなかなか変えづらいし、おもちゃの出し方ひとつにしても、変えるのは勇気と、保育者の専門性が必要だろう。しかし、園のトップがその気になって心を尽くせば、チームとして共に保育を変えていくという実例がここにはあった。



園庭からの一望。奥には滋賀県のシンボル琵琶湖が見える。

雄琴市外の高台に園舎を構え、日当たりのよい園庭では、子ども達の元気な声が響いていた。



01

01. 勤務年数

A: 4年

02. 休日の過ごし方

A: お友達とカフェでのんびり

03. マイブーム

A: おうちのおそうじ

04. 好きな絵本

A: はじめてのおつかい



ふうこ先生
小桜愛児園

02

01. 勤務年数

A: 6年

02. 休日の過ごし方

A: 観光地めぐり、買い物

03. 息抜き

A: Youtube、韓ドラ鑑賞

04. 好きな絵本

A: だるまさんシリーズ



このみ先生
ゆいまる保育園東有馬

01. 勤務年数

A: 4年

02. 休日の過ごし方

A: グルメ巡り

03. マイブーム

A: ことわざの研究

04. オススメ絵本

A: ありがとうともだち



まりん先生
小倉はなご保育園

03

01. 勤務年数

A: 1年

02. 休日の過ごし方

A: 映画

03. マイブーム

A: 好きな漫画、アニメを見る

04. 好きな絵本

A: 11びきシリーズ



みゆき先生
花園保育園ベビーホーム

04

スイッチ!

全国アンケート調査のお願い



今後のスイッチが有効的かつ実益のある冊子として発刊していくため、皆様方の貴重なご意見を参考にさせていただきたく存じます。お忙しいところ大変恐縮ではございますが、上記のQRコードにアクセスし、アンケートのご協力をお願い申し上げます。

また、保育園で働く保育士さんがどのような情報を必要としているかも調査しております。スイッチを貴園の職員さんに回覧し、下記のQRコードよりアンケートを実施して頂けると幸いです。お忙しいところ申し訳ございませんが今後のスイッチの誌面校正を担う大切なアンケートとなりますので、ご協力をお願い致します。

ご協力をして頂いた保育士さんには、抽選で粗品を進呈させていただきます。

